

情報技術教育分科会 活動内容 2008年
第7回ソフトウェア・ツール学生コンテスト

- 主催 化学工学会 S I S 部会情報技術教育分科会
- 協力 (株)オメガシミュレーション, (株)アスペンテック, 出光興産(株),
インベンシス プロセス システムス(株), 住友化学(株), (株)トクヤマ,
東洋エンジニアリング(株), 三菱化学エンジニアリング(株), 三井化学(株)
- 会場 東北大学
- 日時 平成20年9月25日(木) 13:00~16:00
- 応募資格 大学・大学院・高専などに在学中の学生個人もしくはチーム。
原則として申込者は化学工学会会員とします。ただしプロセス設計部門については、会員である教員を通して応募いただくことで、会員外の方でも講義・演習等の成果を発表することができます。
- 表彰・補助 優秀な設計, 作品には, 各賞が贈られます。発表会参加者には学会参加費(学生会員登録費相当)の補助制度もありますので, 希望者は参加申込み時に申請してください。なお, 参加費補助は, 所属研究室からの参加費補助がない方に限らせていただきます。

テーマ

3.1 プロセス設計部門

テーマ

エチルベンゼンの脱水素によるスチレンモノマーの製造

課題

以下の設計条件の下で, エチルベンゼンの脱水素によるスチレンモノマーの製造プロセスを設計してください。シミュレーション結果を示し, 設計上の工夫やシミュレーション上の工夫について発表してください。シミュレーションの方法は特に問いません。

設計条件

別途資料にて

評価方法

主催分科会メンバーを中心とする審査委員により, 設計結果の妥当性, 設計上の工夫, シミュレーション上の工夫を総合的に評価します。優れた発表は表彰いたします。

発表形式

設計結果, 結果の評価, 工夫した点についてプレゼンテーションをしてください(発表10分、質疑応答5分)。発表やデモンストレーションに必要なパソコンは各自ご用意ください。液晶プロジェクタは主催者側で準備します。

3.2 一般ソフトウェア・ツール部門

課題

独自で開発したソフトウェア(計測、データ処理、シミュレーションなど)既存のソフトウェアの新しい使い方やちょっとした工夫について発表してください。

評価方法

開発したソフトウェアの有用性や、既存ソフトウェアの使い方の工夫を総合的に評価します。優れた発表は表彰いたします。

発表形式

開発したソフトウェアについてはデモンストレーション、既存ソフトウェアの新しい使い方についてはプレゼンテーションをしてください（発表10分、質疑応答5分）。発表やデモンストレーションに必要なパソコン・機材は各自ご用意ください。液晶プロジェクタは主催者側で準備します。

招待講演

高木岳彦（三井化学） 中国におけるプロセス設計コンテスト

応募方法

(1) 参加申込

ご注意：コンテストへの参加申込みと秋季大会への参加登録は両方行ってください。代表者の方は、以下の情報を電子メールにてお送りください。

1) 代表者氏名、所属、学年、連絡先（メールアドレス）

2) 発表会参加予定者全員について

参加者氏名、学年、連絡先（メールアドレス）、参加費補助希望の有無

3) 参加部門（プロセス設計部門もしくは一般ソフトウェア・ツール部門）

4) 一般ソフトウェア・ツール部門への参加の場合は、概要（300文字以内）

[申込期限] 平成20年8月8日(金) 17:00厳守

(2) 提出資料

代表者の方は、以下の資料を電子メールにてお送りください。

[資料提出期限] 平成20年9月5日(金) 17:00厳守

【プロセス設計部門】

プロセス設計結果(A4用紙5枚以内)

設計結果に関して、必ず含んでほしい項目については、6月末日までに本ホームページ上で公開(指定)します。

【一般ソフトウェア・ツール部門】

要旨（A4用紙1枚程度）

参加者一覧

【プロセス設計部門】

（最優秀賞：オメガシミュレーション賞） & （審査員特別賞：プレゼンテーション賞）

中村 尚登（京都大学B）

（三菱化学エンジニアリング賞）

内田 光志, 佐藤 由実, 篠岡 実樹,

遠子内 涉, 橋本 龍馬, 吉川 琢也（北海道大学）

（トクヤマ賞）

田中 宏幸, TAN KHEE SEAN（東京農工大学）

（アスペンテック賞）

李 憲樹, 大西 智士, 原田 直幸 (静岡大学)
(住友化学賞)
川口 久文, 成田 洋一 (京都大学A)
(三井化学賞)
荻原 一晃 (東京工業大学A)
(出光興産賞)
阿部 飛太, 青木 拓朗 (九州大学A)
(東洋エンジニアリング賞)
井上 直洋, 岩村 健太郎, 弘中 秀至 (九州大学B)

【一般ソフトウェア・ツール部門】

(最優秀賞：オメガシミュレーション賞)
猪子 寛司 (東京工業大学B)
「ティーチングアシスタントのためのプロセス知識構造化・可視化ツール」
(インベンシス賞)
鈴木 博貴, 長田 孝二, 酒井 康彦, 久保 貴 (名古屋大学)
「有限差分法による乱流解析の精度向上に関する提案」

応募時の提出資料は別途資料にて

コンテストを終えて

ソフトウェア・ツール学生コンテストを2部門（プロセス設計部門，一般ソフトウェア・ツール部門）で行うようになって4回目となりました。これまでは，情報技術教育分科会の協賛企業は(株)オメガシミュレーションの1社だけでしたが，今回は特別に，学生コンテストだけの協賛企業の募集を行い，8社の協賛を得ることができました。また今回は，当日のプレゼンテーション審査だけでなく，応募者が提出した資料に基づいた事前審査も行い，分科会メンバーだけでなく協賛企業の方にも審査に参加して頂きました。最終的には，プロセス設計部門へ応募した8チームと一般ソフトウェア・ツール部門に応募した2チームの計10チーム全てに社名を冠した賞を出しました。